

(様式1)

自 己 評 価 表

愛媛県立三崎高等学校  
学校番号(39)

教育方針	生徒一人一人の個性を尊重し、ゆとりある伸び伸びとした学習活動を推進することにより、たくましく生きる力を育成する。	重点目標	1 進路満足度100%に向け、一人一人に応じた指導を徹底する。 2 部活動と学校行事を充実させ、豊かな人間性を育てる。 3 地域に根ざした学校づくりとボランティア活動を積極的に推進する。 4 基本的な生活習慣を確立し、高い規範意識を育てる。 5 人権意識を高め、いじめや差別のない社会の実現を目指す。
------	--	------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学校経営	重点目標達成のための実践	本校の重点目標を理解し、その実現に向けて創意工夫をしながら実践に励む。	B	学校の魅力化に関する従来の取組に加え、伊方町の取組である公営塾が創設され、生徒の進路目標の実現、学校存続、地域活性化のためにつなげることができた。	学校の魅力化づくりの1つとして、伊方町の取組である公営塾が創設されたが、今後もさらに、学校の魅力化と地域活性化の相乗効果を図り、持続可能な取組に発展させたい。
	地域と連携した教育活動の充実	地域と連携した教育活動を行う。	A	授業(学校参観days)・学校行事(体育祭・文化祭・開校記念行事等)・総合的な学習の時間(せんたんミーティング)・部活動等様々な活動を通して、発展した取組で地域の連携を図ることができた。	地域のハブとしての高校の役割を果たすために、地域との連携を図りながら、創意工夫のある教育活動を展開したい。
	危機管理体制の充実	本校の危機管理マニュアルに基づいた活動を行う。	B	校内及び地域の防災訓練等を通して危機管理体制を再確認し、災害時に実効性のある具体的な対策に努めた。また、地震・津波の防災訓練に関しては、地域の老人、小中学生の避難場所として地域と協力した取組にも努めた。	自然災害・火災や原子力防災等、危機管理マニュアルの見直しを行い、実効性を高める取組を行いたい。
学習指導	家庭学習の充実	高い目的意識と主体的な家庭学習習慣を身に付けさせ、平均家庭学習時間150分以上を達成する。			
	教科指導の充実	積極的に研修を行うことで教員の指導力向上を計り、生徒の授業評価ポイント4.0以上を目指す。 漢検2級取得者5人、実用英検2級取得者2人、商業資格検定1級取得者6人(うち3種目以上1級取得者2人)を目指す。			
生徒指導	生活指導の充実	身だしなみ指導を毎月1回実施し、毎回不合格者0人を目指す。			
	交通安全指導の充実	毎月1回交通安全指導日を設け、通学路の交通指導を行う。ヘルメットの確実な着用を呼びかけ、自転車・原付通学生の無事故・無違反を目指す。			
	奉仕の精神を養う教育の充実	地域に貢献する奉仕活動を1回、校内の環境美化意識を高める奉仕活動を2回実施する。			
	主体性を育てる教育の充実	各クラスにおいて、各種専門委員を1人2役経験させる。			

進路指導	キャリア教育の充実	社会人やキャリアコンサルタントによる講演会を年3回以上実施する。			
	多様な進路希望に応じた指導の充実	進路課通信を月1回以上発行し、進路に対する意識の向上を図る。			
			進路満足度100%を達成する。		
人権教育	人権学習の充実	人権・同和教育ホームルーム活動の年3回実施や年1回以上の人権講演会を通して、人権意識の高揚を図る。			
		人権だよりを年6回以上発行し、人権委員会を中心とした生徒主体の啓発活動を充実させる。			
	情報モラル教育の充実	授業や講演会などを通して携帯電話やインターネットの適切な利用法を理解させ、他者の人権を尊重する態度を育てる。			
	異文化理解の充実	国際交流会等を通して異文化への関心を高め、異文化を尊重する態度を育てる。			
現職教育	研修の充実	校内研修を年5回実施するとともに、校外研修の活用や研修報告を通して、資質向上を図る。			
		年5回以上の研究授業や公開授業時のアンケート・教員相互の授業参観等を、授業改善に役立てる。			
保健・安全管理	保健活動の充実	毎月1回、生徒の健康課題に沿った「保健だより」を発行する。また、生徒保健委員会活動を充実させ、健康に関する情報発信と意識向上に努める。	B	毎月1回の保健だより発行と合わせて、生徒保健委員会の校内放送やSHR発表、掲示物作成などをリンクさせて、タイムリーな情報発信ができた。	生徒保健委員会の主体的な活動を目指し、さらに活発な活動へと充実させていきたい。
		生徒に対し、専門家による健康に関する講話を開催する。	B	10月に八幡浜保健所の方を講師に食品衛生講話を実施した。	生徒のニーズや実態に応じた内容で専門家の講話を実施し、健康意識の向上に努めたい。
	衛生管理の徹底	毎月1回衛生委員会を開催する。	A	毎月1回衛生委員会を実施した。教職員健康管理医の指導の下、教職員の健康管理の充実について協議した。	教職員健康管理医との連携をさらに深め、指導・助言をいただきながら、安全衛生管理に努めたい。
		教職員に対し、教職員健康管理医による講話を年1回開催する。	A	7月に教職員健康管理医による健康講話「認知症」についてを実施した。	現状や将来を考えた内容を提示し、健康相談・健康管理につなげていけるように努めていきたい。
安全管理の徹底	毎学期1回安全点検を実施する。	B	5月、10月、1月に実施した。	事後措置に時間がかかったため、早急な対応ができるよう事務課と連携していきたい。	

図書活動	図書活動の充実	朝の読書の質の向上を目指すとともに、ブックトークなどを通じて読書に対する意識を向上させる。	B	朝の読書を通して、生徒は読書に取り組んだが、一部の生徒はまだまだ読書に対する意識が低いようである。	図書委員を通じてもっと読書に対する意識を高めたい。随時、本の紹介をしていきたい。
		図書委員会で「図書館だより」を年間5回以上発行し、図書館活動を生徒・保護者に啓発する。	C	図書だよりは今のところ2回発行し、3月にもう1回発行する予定である。	もっと図書館活動を生徒や保護者に伝えていきたい。
		図書館来館者数延べ1000人、年間一人あたりの貸出数3.5冊以上を目指す。	C	年間一人あたりの貸出数は2.7冊であった。一年生は多くの生徒が本を借りていたが	来年は2年生にもっと本を借りようとして奨励していきたい。図書館をもっと開放して、生徒が着やすいようにしたい。
PTA活動	PTA活動の充実	ホームページや「PTA便り」を通して、旬な情報を伝え、学校行事への積極的参加を促す。			
		PTA総会の出席率55%以上を目指す。			
事務	教育行政職員としての適切な業務の遂行	光熱水費等経費の節減に努め、予算の有効活用をする。 迅速かつ適正な事務処理をする。			
	環境整備と安全管理	定期的な校内巡視により、不良箇所の早期発見・早期対応。 屋外環境の保全と美化に努める。			
地域協働	地域と連携した取組	地域行事への参加、年6回以上を目指す。			
	生徒の自主的な活動の充実	地域活性化に関するコンクール等へ積極的の応募する。			